

■ 第 9 回 研 究 成 果 発 表 会 ■

屋上緑化やリン回収技術など

日本建設技術(株)グループ



挨拶する原社長



会場のようす

日本建設技術(株)グループは14日、平成24年度(第9回)研究成果発表会を唐津シーサイドホテルで開催した。同社社員と来賓など約170人が参加。同社の発泡廃ガラス材ミラクルソルを活用した屋上緑化や粉末ゼオライトによるリン回収技術、斜面緑化工法など2011年度の成果が報告された。

冒頭、原裕社長が「昨年は、東日本大震災と福島第一原発の事故があったが、時代の変化に敏感な会社がこれからの時代に残っていける会社だと思う。建設業、建設関連業、環境関連事業と我々の技術、工法をフルに活用し、また成長産業のIT事業にも力を入れながら、あらゆる事に挑戦していきたい」とあいさつした。

研究成果発表会では、原社長ら3人がパワーポイントを使って、2011年度の施工事例や事業化に向けた取り組みなどを報告した。まず、同社技術研究所地盤環境研究室の牛原裕司主任が『FWG・屋上緑化工法の特徴および実績と新たな開発』と題し、発表。連続多孔質構造のミラクルソルにより、排水性と吸水性を兼ね備えた工法で、佐賀女子高校舎建設の屋上緑化や熊本の高校中庭などで技術提案。また、無機土壌による軽量化(荷重60kg/m²以下)した屋上緑化システムも新たに工法提案している。

次いで、同所水環境研究室の飯田拓史さんが『粉末ゼオライトのリン回収技術への応用と、水質浄化用ミラクルソルによる水質改善事例』、原社長が『2011年度の



研究成果の発表



優秀社員の表彰

あゆみとMBSS工法&FWGウッドチップ工法の併用』の演題で各々発表した。

同年度の資格取得者の紹介や優秀社員表彰、新入社員紹介に続き、懇親会で歓談し親交を温めた。

【4月16日HP掲載】